

モジュール15. スピリチュアルケア

教育時期: 1) 2年目後期

2) 3年目中期

教育方法: 1) ~ 2) 講義・ケースカンファレンス・
グループワーク



15-1)スピリチュアルペインの理解

■ 目的

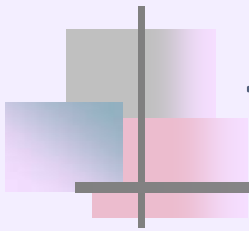
スピリチュアルペインとアセスメントの方法について理解する。

■ 大項目

(1)スピリチュアリティの定義

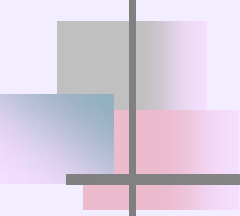
(2)スピリチュアルペインの定義

(3)スピリチュアルペインのアセスメント方法



15-1)-(1)スピリチュアリティの定義

- スピリットの語源
- スピリチュアリティとは
- 日本人のスピリチュアリティの構造



15-1)-(2)スピリチュアルペインと アセスメント

■ スピリチュアルペインとは

1. WHO
2. シシリー・ソンドース
3. ピーター・ケイ
4. 窪寺
5. 村田 などによるスピリチュアルペインの定義

■ スピリチュアルペインのアセスメント

1. スピリチュアルペインの表出
2. スピリチュアルペインのアセスメント



評価

- スピリチュアルペインについて説明ができ、患者のスピリチュアルペインの状態をアセスメントができる。



15-2)スピリチュアルケア

- **目的**

スピリチュアルケアの方法を理解する。

- **大項目**

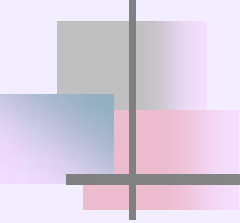
(1)スピリチュアルケアの方法論

(2)看護師に求められる姿勢



15-2)-(1)スピリチュアルケアの方法論

- スピリチュアルケアのプロセス
- スピリチュアルケアの階層性
 1. 特定の状況に限らない基盤となるケア
 2. 特定の霊的・実存的苦痛に対するケア
- スピリチュアルケアの方向性



15-2)-(2)看護師に求められる姿勢

- カウンセリングマインド

 - ケアリング

 - 職業的ケアリングの所属性
 1. 思いやり (Compassion)
 2. 能力 (Competence)
 3. 信頼 (Confidence)
 4. 良心 (Conscience)
 5. コミットメント (Commitment)
- (シスター・M・シモーヌ・ローチ)



評価

- ケアギバーとしての看護師の姿勢を理解し、患者にとり必要なスピリチュアルケアが実践できる。